

# 第9回 Conference on European Space Policy 参加報告

2017年1月31日



葛岡 成樹



## 目次

概要 :	1
欧州宇宙政策 :	1
主なプレゼンテーション・議論 :	2
ちょっと一言.....	2

### 概要 :

欧州連合(EU)の宇宙政策について毎年議論する Conference on European Space Policy は、第9回の今年1月24、25の両日ベルギー・ブリュッセルのエグモン宮殿にて開催された。会議参加者は700名以上、主に欧州の各政府、宇宙機関の官が中心となって参加していた。



この会議は毎年開催されているが、特に今年は昨年10月末に欧州委員会<sup>1</sup>(EC: European Commission)が欧州議会、EU理事会、欧州経済社会評議会、および地域委員会に提出した「欧州宇宙政策」(Space Strategy for Europe)について議論する場となった。会議には欧州議会議長、欧州委員会委員などEUの閣僚・議員といった政府高官が多数出席し、

EUとして今後目指す宇宙開発・産業育成についての議論が中心であった。会議はラウンドテーブルの議論という形をとってはいたものの、その場で議論になるようなことはほとんどなく、欧州宇宙政策の説明に終始した。

### 欧州宇宙政策 :

この会議の報告の前に、昨10月に発行された欧州宇宙政策 (Space Strategy for Europe : <https://ec.europa.eu/transparency/regdoc/rep/1/2016/EN/COM-2016-705-F1-EN-MAIN.PDF>) について簡単に説明しておく。この文書は日本の宇宙基本計画に相当する文書であり、欧州政府として2020年までに12 billion ユーロ(約1.4兆円)以上の公的資金を投入する根拠・方針を定めたものである。この資金を用い、欧州委員会は欧州宇宙機関(ESA)などを通じて大きく3つのプログラムを実施する。

<sup>1</sup> EUの執行機関。

- 1) 衛星測位システム：ガリレオと EGNOS
- 2) 地球観測システム：コペルニクス
- 3) 宇宙研究開発：Horizon 2020 研究開発助成プログラム

この3つのプログラムで、欧州の宇宙産業では、全世界の衛星製造市場の約33%を獲得し、多数の中小企業を含む宇宙利用産業に貢献し、230,000人の専門家の雇用を生むとしている。実際、2014年には46-54 billion ユーロ(約5.3~6.3兆円)の経済効果があり、世界の宇宙産業の21%を占めているとのこと。

この政策では、以下5つの柱を設定している。

- 社会と欧州経済に対し、宇宙を用いることにより得られる利益を最大化
- 世界的な競争力と創造性をもつ欧州の宇宙セクターの育成
- 安全で確実な宇宙の利用や宇宙環境へアクセスできる、欧州の自立性の強化
- グローバルなプレーヤーとしての欧州の役割強化と国際協力の促進
- 効果的な政策の実現

### 主なプレゼンテーション・議論：

1日半の会議においては、正直昨10月に発行された欧州宇宙政策に含まれた以外の新しい情報はなかった。政府の文書に対して、民間から「もっと具体的に書いてほしい」と希望が出るのはどの国も同じである。たしかに5つの柱は抽象的であり、予算的な裏付けは不明な状況のようだ。また日本の宇宙基本計画工程表のような具体的な年度計画も示されなかった。以下プレゼンテーションや議論でいくつか気になった点を挙げてみる。



<以下省略>

### ちょっと一言

冬のブリュッセルはどうも暗いというイメージがある。実際日の出が朝8:30、日の入りが夕方5:30ごろと、会議の行きかえりはまだ暗い中を歩くこととなる。昼でも気温が0度付近と防寒具が大活躍である。ビール王国のベルギーでは、あまり冷やさずにチビチビ飲むビールが多い理由が分かった気がした。



本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<http://sat-biznet.com>

葛岡 成樹

<http://sat-biznet.com/contact-us/>



ユーロコンサル日本事務所

<http://www.euroconsult-ec.com>

葛岡 成樹